

社協だより

こころ

・KOKORO・

手と心
つないで築く
京丹後

第112号
令和8年7月25日発行



親子で楽しめる集いの場 広がるつながり (社協「あそびの広場」)

表紙関連記事2、3ページに掲載

目次

P2～P3 「あそびの広場」開設

P4～P5 令和7年度事業報告・決算

P6～P9 令和7年度事業トピックス

P10 評議員・理事交代と介護サービス等アンケート結果

P11 地域共生社会に向けた取組

P12 お知らせ



お気に入りのおもちゃで遊ぶ子ども達

天候を気にせず親子で楽しめる 「あそびの広場」の開設

最近では、夏の厳しい暑さ、冬の雪や寒さ、雨や台風などの気象条件によって外遊びが難しい日が多く、また子どもが日常的に遊べる場所が自宅周辺に十分でないことから、保護者からは子どもが安心して体を動かせ、気軽に利用できる室内の遊び場を求める声が高まっています。

本会では、親子でゆったり過ごせる室内スペースとして、毎週月曜日に大宮町福祉会館を「あそびの広場」として開放し、自由に遊べる遊具や交流の場を備えるなど、子どもたちの育ちを支える居場所づくりを進めており、子育て家庭の憩いの場として利用できます。

本会では、地域の中で親子が安心して過ごせる居場所を広げていくことは、地域の賑わいづくりにつながる大切な取り組みであると考えています。

子育てを取り巻く環境

少子化と人口減少が進むということは、地域の子育て環境にも影響してきます。

まず、子どもの数が少なくなると、近所に同年代の子どもがいない、遊び相手が見つからないといった状況が生まれやすくなります。これまでは、地域の中で自然に見られた「子どもによる外遊びのにぎわい」や「親同士のつながり」が、少子化が進むとともに薄れてきます。子ども同士が関わり合う機会が減ることで、遊びを通じた学びによる社会性が育ちにくくなるのが心配されます。

また、子育て世帯の人口が減ること、保護者同士が出会う機会も限られ、子育ての悩みを共有しにくい環境が生まれています。

その他にも、近年の気候変動による夏季の猛暑日の増加や熱中症対策のほか、冬季の積雪などにより子どもが屋外で安全に遊ぶことが難しい状況が増えていたり、アパート等の集合住宅で暮らす子育て世代も多く、周辺に十分な遊び

場がないことや、室内で自由に体を動かして遊ぶことが難しいという状況があります。

あそびの広場の開設

本会では、こうした背景を踏まえ、世代や性別を超えて地域の住民同士がつながる拠点づくりを推進することを目的に、天候や居住環境に左右されず子どもが安心して遊ぶことのできる室内の遊び場を整備すること、ボランティア



自由に遊べる遊具

「あそびの広場 開設」

の活躍の場とするため、6月から大宮町福祉会館で「あそびの広場」を開設しています。

開設日は、祝日を除く毎週月曜日の9時30分～14時30分までで、未就学児とその保護者を対象に実施しています。

6月末現在での参加人数は113人となっており、子どもたちは興味のあるものに触れ、自由に遊んでいるほか、親同士での会話や地域のボランティアとの交流が生まれ、世代を超えたつながりが広がっています。

また、夏季期間には対象の範囲を0歳～小学校低学年までの子どもたちとその保護者へ広げること、より多くの人に参加してもらえるように計画しています。

本会では、子どもの居場所づくりを通して、子どもやその保護者、ボランティア活動者との交流を作り、孤立しない子育てをすることができ、また地域の大人が子どもたちを見守り支えることで地域の福祉力を高めます。



「あそびの広場」子ども服リユースコーナー

子ども服のリユース

「あそびの広場」では、利用した人が気軽に子ども服を「ゆする」「もらう」ことのできる、子ども服リユースコーナーを設置しており、子育て世代に無償で子ども服の提供をしています。



「夏季特別版 あそびの広場」

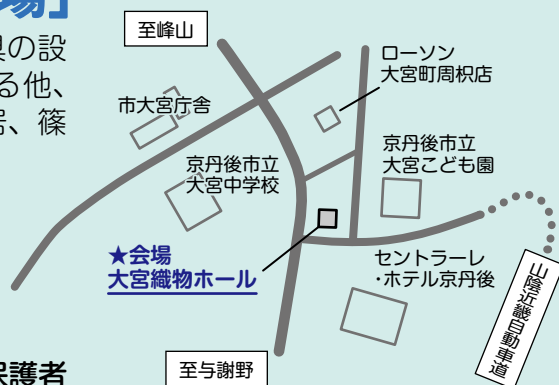
毎週の「あそびの広場」とは違い、エア遊具の設置や親子で工作を楽しめるコーナーなどを設ける他、日替わりでオリジナルエコバックづくりや紙芝居、篠笛の演奏等を予定しています。

日付 7月19日・26日、8月2日・9日
(いずれも日曜日)

時間 9:30～14:30

場所 大宮織物ホール（大宮町周枳1）

対象 0歳～小学校低学年までの子どもとその保護者



市内中学校在校生対象

『制服リユース事業』寄付・ゆずり受け受付のご案内

成長や破損により新たな制服等が必要な生徒に無償で提供しています。

寄付・譲渡の対象物品

現行モデルの
制服・体操服・柔道着

これまでに寄付で集まった制服、柔道着等があります。

詳細はこちらの二次元コードから



ゆずり受けを希望される人は各支所へお問い合わせください。

令和7年度事業報告



令和7年度は、物価高騰などによる経費の増加と、人口減少や高齢者の就労増加などにより在宅介護が難しくなり、施設入所が増える一方で訪問介護やデイサービスの利用が伸び悩みました。その中で、京丹後市やさか老人保健施設ふくじゅでは、入所者が一日平均95・8人と過去最高となり、本会の令和7年度決算を大きく支える結果となりました。

また、京丹後市役所増築棟工事に伴い、昨年の8月から峰山庁舎2号館に峰山支所が移転し、さらに本年5月からは大宮庁舎に大宮支所が入るなど、これによりすべての支所が市役所庁舎内に入り、市との連携をより強固にし、福祉の両輪として機能を発揮できる体制が整いました。

事業計画では、「支え合う人づくり」「安心・安全の仕組みづくり」「ふれあいの場づくり」「生涯現役を支える環境づくり」と、さらに「社協運営の基盤づくり」を加え5つの目標に取り組みました。

支え合う人づくり

広報「いづる」やInstagram・Facebookを活用して、地域の福祉情報をわかりやすく発信をした

安心・安全の仕組みづくり

市民から寄付された市内中学校の制服を、必要な生徒に無償提供する「制服リユース事業」を開始し、

子育て世帯の経済的負担軽減につながったほか、フードパントリープロジェクトでは常設化したことで食品等の支援が即時対応可能となり、地域のセーフティネットとしての役割を果たしました。

また、地域共生ステーション事業を進める支所職員を、コミュニティソーシャルワーカーと生活支援コーディネーターを兼務させることで、総合相談機能や地域の支え合い体制を強化しました。

ふれあいの場づくり

市民によるふれあいと交流の場づくりとして、共同募金の配分金を活用して「ふれあい居場所づくり助成事業」を新たに創設し、誰もが地域でつながりを持てるよう、地域や福祉委員の実施する居場所づくりや交流の場づくりを支援しました。

生涯現役を支える環境づくり

フレイル予防教室を開催し、理学療法士による運動指導、歯科衛生士による口腔ケア指導、管理栄養士による栄養指導、集団レクリエーション等を実施しました。その参加者の中で、介護予防が必要な高齢者を本会の「健やか生きがい教室」へつなげることができました。

また、福祉有償運送事業では、利用者が減少する中で、事業継続を考えて料金の見直しを実施しました。

社協運営の基盤づくり

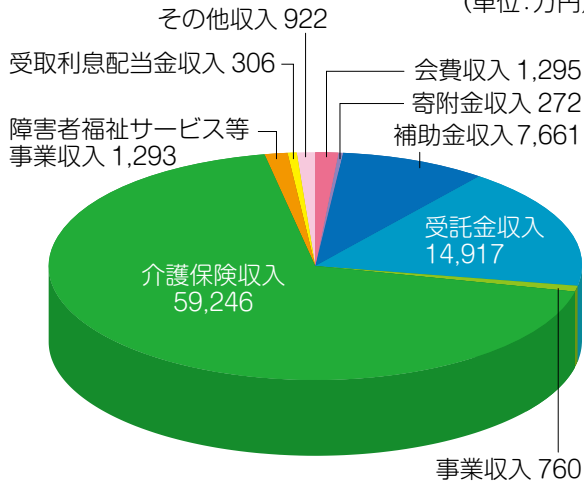
京丹後市やさか老人保健施設ふくじゅでは、市への申請と議会での議決を経て、令和8年4月から第2期指定管理を受託することになりました。また、利用者減少で運営の厳しい久美浜訪問介護では、それまでの久美浜町エリアを峰山町、網野町に拡大し、立て直しを図りました。

本会としては、判断能力に不安のある人が安心して生活できるよう、弁護士・司法書士・社会福祉士等による法人後見準備会を立ち上げて協議し、令和8年4月から法人後見に取り組むことになりました。

令和7年度決算報告(事業活動計算書)

収入額合計 8億6,672万円

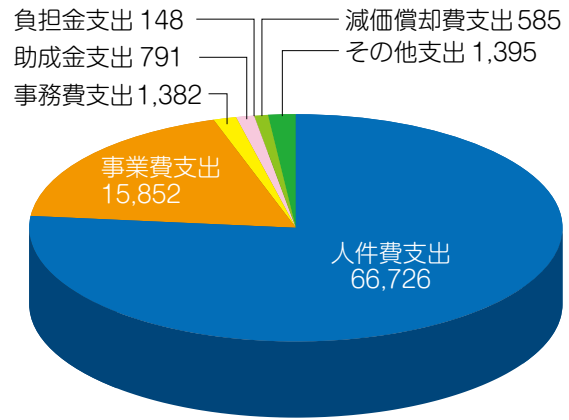
(単位:万円)



前年対比4.9%増(4,065万円)

支出額合計 8億6,879万円

(単位:万円)



前年対比4.8%増(3,954万円)

サービス区分別支出決算額

(単位:万円)

事業項目	決算額	主な事業内容
法人運営事業	8,075	理事会・評議員会の開催、各種部会及び委員会の開催、社協職員研修費用及び社協運営費用など
地域福祉活動事業	250	つながるオムツ宅配便事業、制服リユース事業、フードパントリープロジェクト、雪下ろし助成金、広報紙作成など
居宅介護等事業	4,441	訪問介護サービス及び障害居宅介護サービスの実施、エリアを久美浜町域だけでなく峰山町域や網野町域まで拡大実施など
老人デイサービス受託事業	5,954	網野デイサービスセンターの運営など
生活支援体制整備事業	919	高齢者等見守りネットワークの運営、介護予防教室の実施のほか支所に生活支援コーディネーター（SC）を配置など
生活困窮者自立支援事業	4,804	行政と連携した地域共生ステーションの実施にあたり、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）を支所に設置
権利擁護支援体制整備推進事業	394	成年後見制度の普及・啓発及び法人後見の検討、権利擁護支援者養成講座の開催など
福祉サービス利用援助事業	795	認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等で判断能力が不十分な状態にある人への金銭管理等日常生活支援の実施など
生活福祉資金貸付事務受託事業	1,036	京都府社協の行う生活福祉資金の貸付に伴う申請事務等の実施、コロナ禍で実施された特例貸付の借入者に対するフォローアップ相談・支援事業の実施など
ボランティア基金	444	ボランティア活動のシーズとニーズをマッチングするボランティアセンターの運営、ボランティア活動団体への助成事業など
福祉金庫等貸付事業	1	旧町社協における資金貸付に対する償還事務の実施など
共同募金配分金事業	556	京丹後市共同募金委員会からの配分金を活用して、これまでのサロンなど住民の交流や居場所づくりに助成するとともに、新たに福祉委員の活動を助成するなど
介護老人保健施設運営事業	56,355	京丹後市やさか老人保健施設ふくじゅの指定管理制度による運営
健やか生きがい教室事業	1,569	支援が必要な65歳以上の高齢者を対象に、大宮会場（火～金）、丹後会場（毎週水）久美浜会場（毎週水）、網野会場（毎週金）にて体操や手芸、レクリエーションを実施。
福祉有償運送事業	1,286	身体障害者手帳や精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の所持者及び要介護・要支援認定者等で公共交通機関の利用が困難な方の通院や行政手続き等の外出支援
合計	86,879	

地域の“^{じゅんかつゆ}巡活結” として歩んだ一年 —— 笑顔が巡るまちへ

地域に出向き、人と出会い、つながり、また次の笑顔へ。

令和7年度、本会は地域共生ステーションを中心に、

“人と人が自然につながっていくまち”を目指して活動してきました。

地域のあちこちで生まれた小さな出会いが、

やさしいつながりとなって広がっていく——

そんな一年でした。



広がるボランティアの輪

ボランティアセンターには2,105人、83のグループ登録があり、その内29の団体へボランティア基金からの助成による活動支援を行いました。

また、センターに寄せられた相談の多くは「地域行事へのボランティア派遣依頼」で、センターでは丁寧につないで、多くの登録団体が地域で活躍されました。

センターの公式LINEでは、ボランティア募集を通じて「こんな活動があるなら参加してみたい」という声が増え、ボランティア活動と参加者の思いが、自然とつながる流れができました。



施設イベントで演奏するボランティア



ボランティア講師による手話体験

支え合える人と人



地域の中には、誰かの小さな行動が、そっと次の誰かの笑顔につながっていく瞬間があります。本会では、支え合いの輪がさらに広がるよう市内小中学校4校で福祉学習を支援したほか、地域のサロン等でふくし出前講座を37回開催するなど、「ふくし活動の種蒔き」を行いました。

そのほか、ボランティア講座や担い手養成講座を通じ、「誰かの力になりたい」という思いを持った人材を養成したほか、各地区の福祉委員の活動を支える助成制度が始まり、125の団体を支援しました。



地域×大学生企画イベント



社協職員によるふくし出前講座の様子



コミュニティカフェのひと時



サロンスタッフの寸劇を楽しむ親子

介護事業の取り組み

京丹後市やさか老人保健施設ふくじゅでは、年間の平均入所者数が過去最高の 95.8 人となり安定した運営となりました。

京丹後市網野デイサービスセンターでは、看護職の複数体制が整ったことで、一人ひとりの身体状況に合わせた、より丁寧な機能訓練ができました。

久美浜訪問介護では、事業エリアを峰山町と網野町にも広げ、ヘルパーの不足している地域にも訪問できるようにしました。また障害福祉の居宅介護にも積極的に取り組み、利用者数の増加につながっています。



生活を支える介護職員

ふれあいの居場所づくり

赤い羽根共同募金からの配分金を活用し、新たにふれあいの居場所づくりに対する助成制度が始まり、137 の団体に活動助成を行いました。

お茶を飲みながら話したり、子どもと高齢者が自然に交わったりできる、ふれあいの居場所づくりを応援します。



食でつながる「こども食堂」



子どもと一緒にサロンの準備



多世代でのふれあい



未来の担い手を養成

暮らしに「安心」を

「まだ使えるものを誰かに届けたい」という気持ちが、子育て世帯の助け合いにつながり、やさしさがめぐる仕組みとして「制服リユース」事業を始めました。年間を通じ、制服や柔道着など 80 着が集まり、その内 19 着が希望者の手に渡りました。

また、「つながるオムツ宅配便」事業では、協力者であるオムツ配り隊 35 人により 239 件の訪問が実施され、オムツの配布と子育て情報の提供や相談支援が行われました。

権利擁護では、判断能力に不安がある人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、福祉サービス利用援助事業で 82 人の生活に寄り添ったほか、認知症や知的障害、精神障害などによって物事を判断する能力が十分ではない人を支援する成年後見制度の周知を図りました。また本会では、成年後見制度における法人後見に取り組むべく準備会を立ち上げて検討し、令和 8 年 4 月から実施することになりました。



包括的支援について多事業所で学び合う

地域の支え合いを支えるために、私たち自身も学び続けています。

職員研修やオフサイトミーティングでは、互いの思いや気づきを共有し、“市民とともに歩む社協”としての姿勢を深めてきました。

小さな気づきが、地域の大きな力になる—— そんな思いを胸に、これからも活動を広げていきます。

新評議員及び新理事の選任について

選出団体の役員交代に伴う本会評議員及び理事の交代がありました。
評議員については6月16日の評議員選任・解任委員会で、理事については
6月26日の定時評議員会で新たに選任されました。(敬称略)

新評議員

区分	氏名	備考
自治会代表	藤村 信行	峰山町
	矢野 徹	大宮町
	藤田 政巳	網野町
	吉岡 勇	丹後町
	吉岡 学	弥栄町
老人組織代表	難波 澄雄	丹後町

区分	氏名	備考
その他団体、組織代表	金子 泰治	綾部市
地域福祉委員 代表	尾崎 多佳子	峰山町
	草本 篤志	網野町
	永島 滋彦	丹後町
	芝野 吉実	久美浜町

任期：令和11年定時評議員会の終結の時まで

新理事

区分	氏名	備考
自治会代表	上田 稔	弥栄町

区分	氏名	備考
女性組織代表	東 美知子	丹後町

任期：令和9年定時評議員会の終結の時まで

評議員及び理事の退任について

この度の改選により下記のかたが退任されました。
地域福祉活動の推進にご尽力いただきありがとうございました。(敬称略)

退任評議員

藤村 武	中西 眞一郎	浅田 茂幸
岡田 憲孝	上田 稔	野波 雄二郎
岩淵 祐子	上田 貴志	中田 裕雄
中江 純子	安井 岩夫	

退任理事

梅田 利也	岡 眞子
-------	------

(順不同)

介護サービス及び障害サービス等

利用者 アンケート結果

網野デイサービスセンターや久美浜介護サービス事業等では、利用者等の意見を参考にしてサービス向上を図るため、毎年アンケートを実施しています。
令和7年度のアンケート結果の詳細は、二次元コードからご確認ください。

網野デイサービスセンター アンケート結果

実施期間：令和8年1月
対象者数：59人
回答者数：55人
回答率：93.2%



No	質問	非常に満足	満足	普通	不満	非常に不満	無回答
1	職員の対応について、言葉づかいや態度は丁寧ですか？	19	26	10	0	0	0
2	恥ずかしい思いをするなど、プライバシーに配慮する事ができていますか？	13	24	16	0	0	2
3	職員はあなたの要望をよく聞いてくれますか？	22	24	8	0	0	1
4	困ったときに相談しやすい雰囲気ですか？	15	24	16	0	0	0
5	送迎について運転や職員の対応は丁寧ですか？	24	24	6	0	0	1
6	入浴の際、職員の介助は丁寧で安心できますか？	19	25	10	0	0	1
7	食事の味付けやボリューム、盛り付けに満足していますか？	12	33	6	0	0	4
8	室内は清潔で、心地よく過ごせる環境ですか？	10	33	7	0	0	5
9	機能訓練が生活機能維持や向上に役立っていると感じますか？	9	25	15	1	0	5
10	レクリエーションや活動について興味がもて、楽しいと思える内容になっていますか？	8	28	15	0	0	4
11	デイサービスに来るのが楽しみですか？	11	32	7	0	0	5

久美浜介護サービス事業等 アンケート結果

実施期間：令和7年10月
対象者数：41人
回答者数：37人
回答率：90.2%



No	質問	満足	やや満足	普通	不満	やや不満	無回答
1	安心してサービスを受けることができますか。	30	4	3	0	0	0
2	ヘルパーは「笑顔」「親近感」がありますか。	32	2	3	0	0	0
3	ヘルパーの身だしなみはきちんとできていますか。	32	3	2	0	0	0
4	ヘルパーの言葉遣いや態度は、ていねいで気持ちの良いものです。	32	3	1	0	0	1
5	ヘルパーは物品の取り扱いをていねいに行っていますか。	28	6	3	0	0	0
6	ヘルパーが提供するサービスの質や技術に満足していますか。	31	5	1	0	0	0
7	ヘルパーはあなたの話を親身になって聞いてくれますか。	33	2	2	0	0	0
8	要望や不満等をヘルパーに対して伝えることができますか。	26	3	5	0	0	3
9	ヘルパーに気軽に声をかけることができますか。	29	4	2	0	0	2
10	ご本人、ご家族のプライバシーや個人情報をヘルパーは守ってくれていると思いますか。	30	3	2	0	0	2
11	急用があったとき、ヘルパーは訪問日時の変更を聞いてくれますか？	29	1	5	0	0	2
12	ヘルパーを利用するようになって、自分でもしてみようと思えることが増えたり、気持ちが明るくなったと感じますか。	22	8	4	0	0	3

地域のつながりづくりを応援する 地域共生ステーション

京丹後市には、市民局と地域公民館、地域コミュニティ・にぎわいづくり課、社会福祉協議会が連携し、地域づくりを支援する仕組み「地域共生ステーション」があります。

本会では、支所にコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置し、地域の困りごとや支援の必要性に気づく窓口となるほか、住民主体の居場所づくりを支援しています。

今回は、丹後地域共生ステーションの取り組みから、竹野コミュニティの活動を紹介します。

竹野コミュニティは、竹野区・宮区・牧の谷区・願興寺区・家の谷区・筆石区・乗原区・此代区の8地区で構成され、CSWが参加する福祉部会を中心に地域の課題に向き合っています。

集落が点在しているため、地域内での交流や困りごとの把握が難しいという課題がありました。



珈琲の香りに包まれながら談笑

そこで、各地区の集会所をめぐって交流の場をつくる「カフェたけのこ」が企画されました。スタッフは福祉部会に所属する区長や福祉委員と、ボランティアです。

第1回のカフェは、竹野区集会所で6月28日に開催され、31人が参加しました。

「小さな区だけど、普段の生活では顔を会わすことが少ない」と話す参加者もあり、また子どもが小さかった頃の懐かしい話や、最近気になっていることを語り合い、ゆっくり交流できるカフェになりました。

コミュニティ コーピングで学ぶ

京丹後市には福祉サービスなどの資源を通じて人とつながる機会があり、必要な支援につながる場合があります。

しかし、単身世帯や高齢者世帯の増加により、地域行事等に参加困難な人が増え、人や資源とのつながりが減少することで、必要な時に助けが届かない「社会的孤立」が生まれてしまっています。

こうした孤立を防ぐための考え方がコミュニティコーピングです。これは、地域の人や資源をつなぎ、困りごとに気づき、支援につなげる「社会的対処」の仕組みをゲーム形式で楽しく学ぶことができます。

本会では、6月29日に開催された、京丹後人権擁護委員協議会の研修会で、コミュニティコーピングを取り入れた講座を実施しました。



必要な助けを届けるための気づきと行動

ことをほってはおけないと集まった地域住民が登場し、それぞれの得意分野を活かしながら話を聞き、問題解決へ導きます。

体験した人権擁護委員からは、「登場人物を京丹後市に置き換えると、専門職が少ないことに気づいた」「同じような困りごとが多いので、個々への支援だけでなく、地域全体で一緒に対応できないか」など、意見が聞かれました。

コミュニティコーピング体験は、本会の出前講座で実施しています。困った人が孤立しない地域をつくるためにできることを、一緒に考えてみませんか。



善意のご寄付

あたたかいお気持ちをいただき、ありがとうございました。
(令和8年5月1日～令和8年6月30日受付分)

供養として

吉岡 厚司 様 (弥栄町) 1,000,000 円 亡父 徳男様

地域福祉事業へ

株式会社ベルマリエ様 (通算 239 回目) 6,000 円
株式会社山翠園様 22,260 円

釣銭の一部を寄付

小市郎商店お客様 1,131 円

社会福祉協議会会員加入のお願い

令和8年度社協会費納入のお願い

皆様からお寄せいただく会費は、高齢者の見守り活動、子育て支援、災害時の支援体制づくり、ボランティア活動の支援など、地域福祉のさまざまな取り組みに活用します。

地域をより良くするための貴重な財源です。引き続き、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

一般会費	一口 1,000 円
賛助会費	3,000 円以上
ふるさと会費	3,000 円以上

つながるオムツ宅配便

満1歳までの子どもを養育している家庭を、おむつ配り隊（訪問支援員）が訪問し、おむつ等の育児用品とともに、子育てに関するサービスやサロン等の情報を届けます。



こちらからお申し込みください。



※毎月 上限に達し次第終了させていただきます。

成年後見制度普及・啓発講演会 ～安心の準備 はじめの一步～

将来に備えるための制度やエンディングノートについて学び、自分らしい暮らしをまもるヒントを紹介します。

日時 令和8年8月24日(月) 13:30～15:30

会場 峰山総合福祉センター 2階 コミュニティホール

内容 ①13:30～(60分)
講演「安心して暮らし続けるために今できること」
福知山公証役場 公証人 梶木新一氏
②14:40～(50分)
講演「いつまでも自分らしく」
京都地方法務局 京丹後支局 高宮知範氏

申込 電話か FAX で 8月20日までに
京丹後市社会福祉協議会
電話：65-2100 FAX：65-3294



発行／社会福祉法人 京丹後市社会福祉協議会

〒627-0111 京都府京丹後市弥栄町溝谷 3464 TEL 0772-65-2100 FAX 0772-65-3294
E-mail: info@kyotango-shakyo.jp

社協HP



Instagram



Facebook



LINE



ふくしゅう



峰山支所 (市峰山庁舎2号館内) TEL62-4128
大宮支所 (市大宮庁舎内) TEL64-2037
網野支所 (網野健康福祉センター内) TEL72-0797
丹後支所 (市丹後庁舎内) TEL75-0808
弥栄支所 (市弥栄庁舎内) TEL65-2100
久美浜支所 (市久美浜庁舎内) TEL82-0008